

令和５年度 第１回大和町地域公共交通会議 議事録

日 時：令和５年６月１６日（金）午後１時３０分～午後２時１８分

場 所：大和町役場 ３階 ３０２会議室

出席者：浅野喜高会長、徳永幸之委員、若生 昇委員、小川 実委員、早坂秀男委員、
堀籠美江子委員、植松晋一委員、宮野大樹委員、佐藤剛委員、二瓶智樹委員、
亀谷裕委員、 出席委員 １１人

関係者：町民バス運行事業者 大新東株式会社 運行管理者 田村 篤人様

欠席者：長尾勝吾委員、横田壮一郎委員、小林正実委員、中村信男委員、
長谷部宗俊委員、高橋 高委員、佐藤勝志委員

事務局：まちづくり政策課 江本課長、菅野、齋

１．開 会 進行 江本課長

過半数出席のため、会議が成立する旨報告。

２．あいさつ

本日は、ご多用の中ご出席いただきありがとうございます。

日頃から皆様方にはまちづくりの推進にご理解とご協力いただき感謝申し上げます。
新型コロナウイルス感染症については、５月８日に感染症の位置付けが変更となり、コロナ前の活動に戻りつつある状況であります。本町においては、お祭りなどの行事が従来どおりの開催を予定しております。しかし、新型コロナウイルス感染症が完全に収束しておりませんし、梅雨の季節になりましたので、皆様方には健康等に留意しご活躍をしていただきたいと思います。

さて、本日は第１号から第５号議案まで、更には報告事項として二つあります。

皆様からの慎重なご審議ご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

３．議 事

設置要綱第７条の規定により、浅野副町長（会長）が議長となり、議事を進行。

議案第１号 令和４年度事業報告について

（資料Ｐ３参照）１３：３６～１３：３９ 事務局（菅野）より説明

特に質疑なし 議案第１号 【原案どおり承認】

議案第 2 号 令和 5 年度事業計画案および収支予算案について

(資料 P4～5 参照) 13 : 40～13 : 42 (菅野) より説明

特に質疑なし 議案第 2 号 【原案どおり承認】

議案第 3 号 令和 6 年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請について

(資料 P6～15 参照) 13 : 43～13 : 50 (菅野) より説明

質疑

徳永委員：前年度のフィーダー系統確保維持費国庫補助金の一次評価、二次評価をしていると思うが、なにかしらの指摘事項や改善事項があったかと思うが、どう今回の申請に反映しているのか

事務局：これまで大きな指摘、改善事項はないが、以前アンケート等を実施すべきと
いうことがあり、令和 4 年度にアンケート調査を実施し、町民バスの運行ダイヤ等を変更したもの。

議案第 3 号 【原案どおり承認】

議案第 4 号 大和町町民バス自家用有償旅客運送の更新登録について

(資料 P16 参照) 13 : 50～13 : 52 事務局 (菅野) より説明

特に質疑なし 議案第 4 号 【原案どおり承認】

議案第 5 号 大和町地域公共交通計画策定について

(資料 P17～24 参照) 13 : 53～14 : 03 (菅野) より説明

質疑

徳永委員：アンケート調査 1,500 枚としているようだが、送付枚数が 1,500 枚なのか回収枚数が 1,500 枚なのか教えていただきたい。

事務局：送付枚数が 1,500 枚で考えている。

徳永委員：そうすると、だいたい回収枚数は 700 から 800 となる。もっと公共交通を利用されている方がどれだけカバーされるかが心配。それを補完するために、よりデータを分析するや、ヒアリング等の調査も一種あるかと思うが、そのあたりはどうか。

事務局：無作為で 1,500 となるため、回収した際に利用されていない方が多くなる可能性はある。R4 年度にデマンド利用者、バス利用者にアンケートをしているので、その内容を併せて分析し、乗降調査の内容やバスに関しては高校生の利用が多いので、そのあたりの意見をどう拾うか考えていきたい。

徳永委員：仕様書上どうなっているか分からないが、予算額が予算額のため、メリハリをつけてやっていくと良いと思う。

4. 報 告 14:03~14:10

- ・令和4年度町民バス・デマンドタクシーの運行状況について
- ・町民バス運行事業者について

(資料P25~28 参照) 14:03~14:10 (菅野) より説明

質疑

徳永委員: 25ページのところで確認したい。登録者数に吉岡地区があり、26ページの利用状況にはないのはなぜか。併せて、登録者に対する利用者の割合はどのように把握されているか。今回の計画で調査するようになるのか。

事務局: デマンドタクシーについては吉岡地区の方も利用できるが、利用状況にある4地区から吉岡中心部に来るための運行にしている。吉岡の方は鶴巣便と吉田便に便乗する形になる。運行ルートは4つで、その途中で吉岡の方が乗るためそういったコース別の利用状況になっている。

年度内に1回以上利用された方は260人程度になっている。各地区からの利用者の分析、行き先、1便当たりのコスト等の分析を行った。その内容の計画に盛り込んでいきたい。

徳永委員: 大きな地区だけではなく、より細かい範囲での利用実態が分かると問題点が分かりやすくなる。運行管理体系について、事故処理の部分がざっくりしている。この中に町が入っていない。実際は町への報告や支局への連絡等があると思うが、そのあたりを確認したい。

事務局: ご意見のとおり、実際は町への連絡があり町から支局へどこまでの報告が必要になるか確認している状況。この体系図については改めて追記した形で作成する。昨年度も軽微な事故はあったが、町も現場へ向かい、状況の確認等は実施している。

5. 閉 会 14:18